

JSPN-KSPN 若手・中堅小児神経外科医交換留学プログラム

2016年度 交換留学プログラム国内受け入れ施設公募のお知らせ

謹啓

日本小児神経外科学会会員 先生方へ

1. 目的

この度、日本小児神経外科学会（JSPN）と 韓国小児神経外科学会（KSPN）は、双方の渉外委員会が窓口となり、交流事業の一環として交換留学プログラムを実施することになりました。

日本と韓国小児神経外科学会中堅メンバーの臨床を通しての交流をはかることを目的としており、実際の手術・病棟管理・カンファレンスを一緒に行うことにより、より臨床面及び今後の交流を深める意義あるものと考えます。

2. 人数・研修期間

2016年度より、毎年一人 KSPNが推薦選出した若手・中堅の韓国小児神経外科医が来日し、小児専門病院もしくは大学病院を訪れ、日本における小児神経外科医療の研修を経験していただくことにいたします。

期間は、2週間から8週間の予定（特に限定はありませんが、原則として2ヶ月以内）として、原則、韓国から留学する小児神経外科医が研修施設・研修期間を選定することになります。

一つの施設で全期間滞在する、もしくはいくつか施設を回る、さらには一日～二日のみ目的を持って当該施設を訪れるなど、様々な型式が考えられます。

3. 国内受け入れ施設基準

現在、渉外委員会にて検討している国内受け入れ施設基準は以下です。

国内受け入れ施設基準：

- ・小児年間手術件数 100 件以上、うち新規患者 50 名以上を原則とする。
- ・受け入れを希望する場合は手術件数にこだわらなく応募可能。
- ・脳神経外科学会専門医 2 名以上がスタッフとして在籍。
- ・複数の施設を回ってもらうことも可能。
- ・その場合、1 施設最低 2 週間の研修を行う。

小児専門病院以外の大学病院・総合病院での受け入れも可能です。その際には、成人の脳神経外科診療や臨床・基礎実験研究の見学をしていただいても構いません。

ただし、ただ見学するだけの研修でなく、実際に手術・病棟処置・カンファレンスなどに入ってもらい臨床経験を共有する様なプログラムとして下さい。

4. 滞在中の諸問題

施設として研修を公式に認めてもらうことが望ましく、書式は問いませんが研修修了書の交付をお願いします。また、交付した修了書のコピーを日本小児神経外科学会事務局に郵送で届けて下さい。

滞在中の各種便宜および滞在中の諸問題に関しては受け入れ施設の実務担当責任者が負う様をお願いします。

住居：受け入れ施設で斡旋あるいは準備

滞在費：原則、個人負担

旅費：JSPN としての負担は行わない

食費：原則、個人負担

5. 研修受け入れ施設応募

つきましては、KSPNからの留学研修を受け入れていただく施設を公募いたします。本事業の趣旨をご理解いただきまして、積極的にご応募いただきます様、よろしく御願い申し上げます。

応募申込期日を9月末までとさせていただきます。

日本小児神経外科学会渉外委員会にて協議した上で受け入れ施設を選出し、総務会・理事会へ諮問した後、坂本博昭 理事長に最終決定をいただくこといたします。

尚、応募施設が無かった場合は、JSPN学会主導で研修受け入れ施設をお願いする場合もございます。

その後、留学予定の韓国小児神経外科医ご本人に研修施設を選定していただく流れとなります。

6. 応募要項

添付の応募書類に記載の上、日本小児神経外科学会事務局まで郵送、あるいはemailにて下記まで送付の程、お願い申し上げます。

謹白

2016年 1月 吉日

日本小児神経外科学会 渉外委員会
事務担当委員 朴 永銖 (奈良県立医大)
埜中正博 (関西医大)